

三川合流域 豊かな自然に触れる

5月9日、三川合流域で「子ども自然観察会」と「生物多様性セミナー」を2部構成で開催。植物や昆虫等の専門家を講師に招き、市の豊かな自然環境や生物多様性について広く知ってもらうことを目的に実施しました。

■小学生対象

「子ども自然観察会」

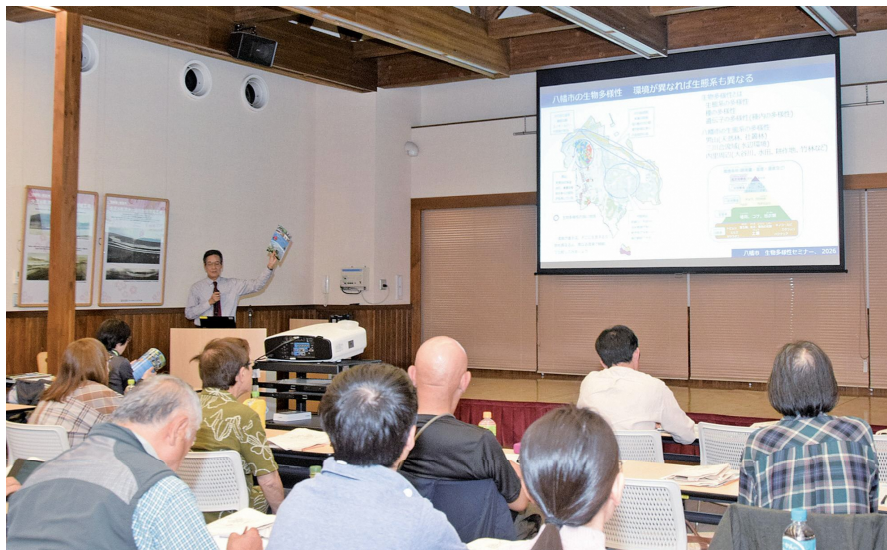
午前中に行われた小学生対象の「子ども自然観察会」では、かわきた自然運動公園下流（導流堤）を散策。子どもたちは講師らによる解説に興味津々の様子で耳を傾け、見つけた多種多様な昆虫や草花を熱心に観察していました。また、草花遊びをしたり、クサイチゴを味わったり、自然との触れ合いを楽しみました。

■「生物多様性セミナー」

午後からは、生物多様性セ



ナーを開催。同セミナーは、市内小学生向けに作成している「八幡のまちの小さな仲間たち」の概要版（右記二次元コードからダウンロード可）の刷新を機に初開催したもので、3人の講師が、京都府内でも珍しい本市の地形や生物多様性が豊かな要因、具体例を交えた植物相などを解説。



▲ 生物多様性セミナーの様子

◀ 「子ども自然観察会」で採集した昆虫を観察する様子

講師を務めた京都府希少野生生物保全推進員の谷壽一さんは、「貴重な生き物だけではなく、草や木、土壌を含めた生態系全体を守ることが重要」と話しました。

「探検みたいで楽しかった」

自然観察会に参加した里野由樹乃さん(8)は、「探検みたいで楽しかった。来年あったらまた行きたい」と笑顔で話していました。

まちの 話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

五輪柔道3連覇 野村忠宏さん講演

来場者を前に講演する野村忠宏さん

折れない心で挑戦続けて

生涯学習開講式記念講演会が5月16日、生涯学習センターで開催。柔道60kg級でアトランタ・シドニー・アテネオリンピック3連覇を達成した野村忠宏さんが250人を超える聴衆を前に「折れない心」をテーマに講演し、令和8年度の生涯学習講座の開幕を飾りました。

3歳で柔道を始め、幼少期は決して強い選手ではなかったという野村さん。高校・大学と進学するにつれ「強くなりたい」と恩師との出会いが、心の持ちようの変化へとつながった。練習内容も自ずと変わっていった」と振り返ります。心技体のうち「体



で押し通した1回目のオリンピック、「技」を磨き上げた2回目のオリンピック、「心」を立て直し挑戦した3回目のオリンピック。3つの金メダルが登場した際にはひと際大きな歓声が上がりました。人生の岐路となる出来事を赤裸々に伝えてくれた野村さん。会場は幾度となく笑いに包まれ、「心の持ちようを変え挑戦を続けてほしい」と野村さんがエールを送り、締めくくりました。

宇治川で 水難救助訓練

本格的に雨量が増加する時期の前に、消防本部が5月11日～14日の4日間、宇治川御幸橋付近で水難救助訓練を行いました。

同訓練は、水難現場における消防隊員の連携や救助活動の技術を向上させることを目的に、毎年実施されています。

訓練では、宇治川で人が流された想定し、消防隊員3人1組が

乗り込んだ2艇の救命ボートで要救助者を捜索。上流から流れてきた要救助者に見立てた人形を発見すると、迅速に近づき手際よく引き上げ、救出を行いました。

また、遠方にいる要救助者にロープや浮き輪を渡すための空気式救命索発射銃の使用方法についても確認。

ほかにも、無人航空機（ドローン）や水中ドローンの操作訓練を行うなど、さまざまな場合を想定し、水難救助の技術向上に励んでいました。



要救助者に見立てた人形を使用した救助訓練

今月のこの人

中学2年で英検1級取得 カナダ大使賞を受賞



高校2年生。中学2年生で英検1級を取得し、優秀な成績を収めた受験者に贈られるカナダ大使賞を受賞。市内在住。

川原将人さん

「言葉を学ぶことで、その国の文化を深く知ることができる」と話すのは、高校2年生の川原将人さん。川原さんが英語に触れたのは3歳の頃。家族の仕事の関係で6歳まで中国・上海で暮らし、「日常生活の中で自然と英語を使っていた」と振り返ります。帰国後も英語の本や映画に親しみ、語学力を磨いてきました。

中学2年生で英検1級を取得し、優秀な成績を収めた受験者に贈られるカナダ大使賞を受賞。現在は、英語で授業を行うコースで学びながら、海外研修や旅行などを通して多様な文化に触れています。「英語なしでは決して巡り会うことのできなかった視点や、多くの出会いが得られることが魅力」と英語がもたらした貴重な経験を語ります。

一つ上の兄も同じく英検1級を取得。国際的に認められる大学入学資格「国際バカロレア」の取得に向け、切磋琢磨しているそうです。英語と並行して中国語の勉強も継続しており、「さまざまな文化を深く理解できる国際人になりたい」と目を輝かせました。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。